

平安時代からの
皇室の文化を感じられる場所

京都御所

KYOTO GOSHO



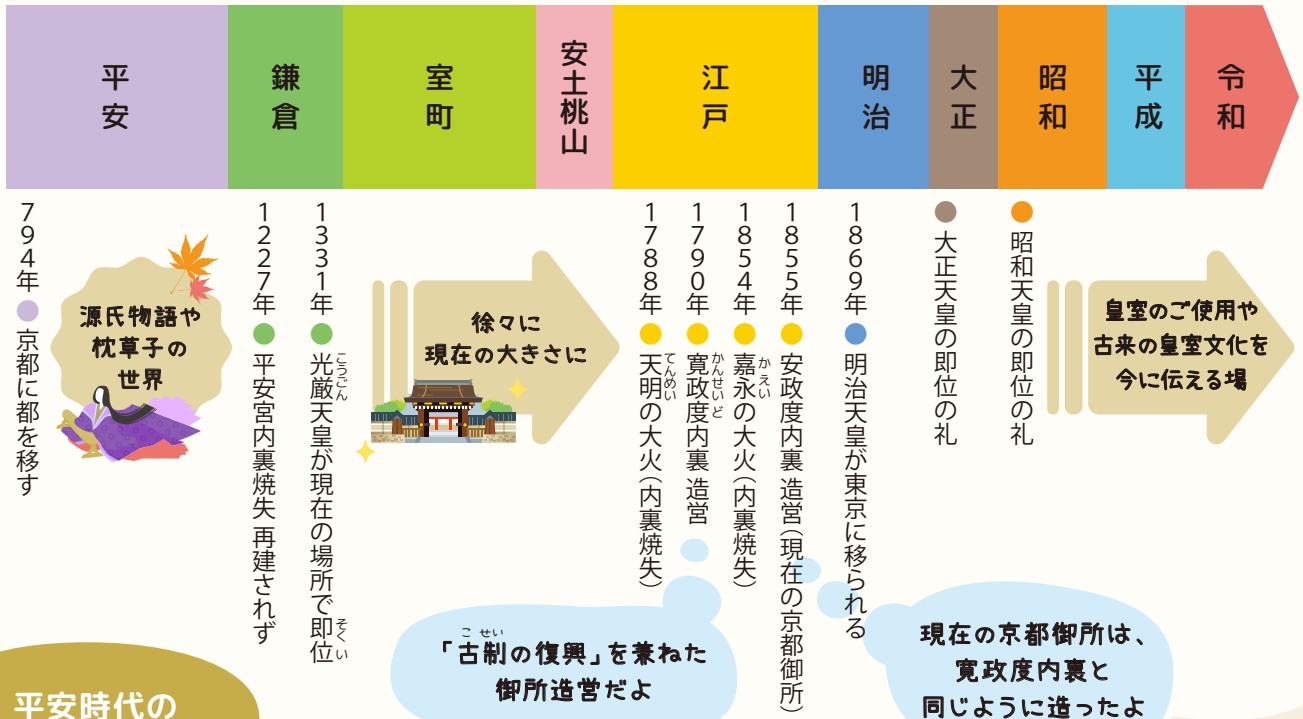
京都御所ってどんなところ？

京都御所は1331年から1869年までの約500年の間天皇のお住まいだった場所です。古くは内裏と呼ばれていました。現在の京都御所は、そのほとんどが安政2年(1855)、孝明天皇の時代に造られたものですが、平安時代の様式を復元しているなど、古代からの宮廷文化を感じることができます。



ここは、内裏が焼失した時などに貴族の邸宅を仮のお住まいとして使う里内裏という場所でした

京都御所 歴史年表



源氏物語や枕草子の世界



徐々に現在の大きさに



「古制の復興」を兼ねた御所造営だよ

現在の京都御所は、寛政度内裏と同じように造ったよ

平安時代の様式の復元は...



なぜ？

時の天皇・光格天皇が、古来の儀式を本来の姿で行うために必要な舞台を実現しました。



やっど

有職故実の学者・裏松固禅の研究や、絵巻や古い建築を参考にしたそうです。

京都御所ではどんなことが行われていたの？

年中行事

平安時代から、天皇と貴族は数多くの儀式や行事を日々行っていました。正月や節分、七夕など、年中行事は時代に合わせて形を変え、今も大切に受け継がれています。



元日節会『旧儀式図画帖』(部分) 28巻
東京国立博物館所蔵 Image: TNM Image Archives

即位の礼

新たに天皇となった方が即位(天皇になること)を公に宣言するのが「即位の礼」です。現在の紫宸殿では、明治天皇、大正天皇、昭和天皇の即位の礼が行われました。



即位礼『明治天皇紀附図』宮内庁蔵

江戸末期の歴史の舞台

二条城での大政奉還の後、明治政府の基本方針を示した「五箇条の御誓文」の発布や、今後の徳川将軍家の処分を決めた「小御所会議」が行われました。



五箇条御誓文『明治天皇紀附図』宮内庁蔵

ご即位などの慶事を祝う茶会をお催しになるなど、現在も皇室がご使用になっています



京都御所の見どころ

1

さまざまな時代の
特徴を持った建物



平安時代の寝殿造や、床や棚を取り入れた書院造のほか、室内にシャンデリアのある近代的な生活様式に対応した建物があるなど、いくつかの時代の特徴を持った建物が存在しており、日本の建築の歴史の移り変わりが学べます。

2

四季で“景観”が変わる
美しい庭園

京都御所内の庭園「御内庭」は、北から南に流れる遣水を中心としたお庭で、春は桜やツツジ、藤が咲き、秋は紅葉、冬は雪景色など、季節ごとに美しい景色が広がります。一方、大きな池がある「御池庭」では、池の周りのどの位置から見ても美しい光景が見られます。



3

名だたる絵師たちが
画いた障壁画



京都御所内には、障壁画が全部で1800面ほど存在しています。障壁画のほとんどは安政2年に、97人のすぐれた絵師たちが1年半ほどの短い期間で、一気に書きあげたものです。当時の京都画壇のタイムカプセルとも言われている素晴らしい障壁画です。



(京都御所 MAP)

A し しん でん 紫宸殿



紫宸殿は平安時代の様式を再現して建てられています。京都御所の建物の中で最も格式の高い正殿で、「即位の礼」もここで行われています。

CHECK

たか みくら みちようだい 高御座と御帳台



紫宸殿の中に置かれている天皇と皇后の御座です。大正時代に作られ、令和の即位の礼でも使われました。

京都御所周辺には6つの大きな門があって、身分によって入る門や入り方がちがっていたんだよ



例えば
宜秋門
公御・親王・将軍が
参内する時に使った門

B しゅんこう でん 春興殿



大正天皇の即位の礼に合わせて造られた建物です。皇位と共に継承される「三種の神器」のひとつ「鏡」を安置するために造られました。

今の京都御所に
実際住んでいたのは
孝明天皇と明治天皇です



C せいりょう でん 清涼殿



天皇の日常のお住まいであった場所で、平安時代の様式で建てられています。平安文学にもよく登場する建物で、天皇の仕事場でもありました。



京都御所を未来へつなぐため、屋根の葺き替えや障壁面の修理、庭園の手入れや防災訓練なども行っています。



D こごしょ 小御所



皇太子や皇位継承に関わる儀式、武家との対面や和歌・管絃など多くの儀式が行われました。「小御所会議」が行われた場でもあります。

E おがくもんじょ 御学問所



全面畳敷きで和室の続き間があるなど、書院造の様式がみられる建物です。学問などに関する儀式の場であり、「王政復古の号令」が発せられました。

F おつねごてん 御常御殿



豊臣秀吉が御所を造営した際、天皇が日常生活を過ごす場所として新たに造った御殿です。西側には、七夕や茅の輪などの行事を行っていた御三間があります。

